

和歌山から元気を送ります！

第19号 2016 春号
発行 株式会社コムテック
和歌山市西浜1038番地の12
http://www.komura-g.jp/komtech/
編集人 貴志・出島

はあとこむ通信



はあとこむ通信も創刊号発行より早いもので、もうすぐ5年が経とうとしています。
本通信では、これまでコムテック各部署・メンバーのご紹介や介護関連商品のご案内、地元和歌山に関する情報などをご紹介して参りました。
今回は、少し原点に戻り「コムテック」についてご紹介致します。

～コムテックの歴史～

- 平成元年 株式会社コムテック設立。
- 平成15年 介護消耗品の販売開始。
福祉用具・高度管理医療機器の販売開始。
- 平成16年 一般用医薬品の販売開始。
- 平成22年 東京都文京区に東京支店開設。
- 平成26年 コムテックロジセンター設置。
- 従業員 31名（男性9名・女性22名）
- 企業理念 お客様のあらゆるニーズに、最良の技術と誠意で応え、最良のサービス・商品を提供する。



コムテック本社事務所



コムテックロジセンター

本社事務所のすぐ向かいにロジセンターがございます

～コムテック（本社）はこんなところにあります～

●所在地（本社）

和歌山県 和歌山市 西浜（和歌山市の南側）

●アクセス

大阪より和歌山市駅まで電車で約1時間
⇒ 和歌山市駅から車・バスで南へ約20分

●最寄りの観光名所「和歌の浦」

コムテックより車で5分圏内にある「和歌の浦」は和歌山市の観光名所であり紀州徳川のゆかりの地。

平安時代から万葉集の歌枕として詠まれた景勝の地で、夕陽がとても美しく、大海原を一望できる庭園や展望台の他、老舗観光旅館や紀州徳川家の歴史遺産が複数ございます。

自然豊かで風情があり、のんびりと歴史散策を楽しみたい方に大変オススメの観光地です。



ドラマ「真田丸」の主人公・真田幸村が隠棲生活を送った九度山町。
(第18号にてご紹介)

昨年2015年に1200周年を迎えた高野山。
(第15号にてご紹介)

和歌山市
和歌山県

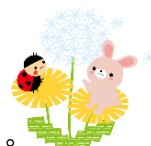
パンダと温泉で有名！
和歌山県一番人気の観光名所「白浜町」

映画「海難1890」の題材となった「エルトゥールル号事件」の舞台 紀伊大島。
※この物語については裏面をご覧ください

コムテック東京支店
(東京都文京区)

コムテックの従業員は地元和歌山県で生まれ育った人がほとんど。本社事務所と倉庫が併設されており、毎日倉庫からは、和歌山弁の元気なかけ声が聞こえてきます。

後々のはあとこむ通信で和歌山弁紹介コーナーも考えておりますのでぜひ楽しみに・・・。



◆はあとこむ通信の過去の記事（バックナンバー）はコムテックHPでご覧頂けます◆

日本とトルコ 友好の礎 「エルトゥールル号事件」

皆さんは「**エルトゥールル号事件**」をご存知ですか？今回は日土（日本とトルコ）友好の礎となったこの物語についてご紹介します。

親日家が多いといわれるトルコですが、きっかけは100年以上も前に遡ります。1889年7月14日、乗組員650名以上を乗せた木造船**エルトゥールル号**はオスマン帝国の威信をかけ、天皇に謁見する旅に出ます。船体の破損や暴風雨により、その航海は困難を極めましたが、出航から11ヶ月後の1890年6月7日、ようやく天皇への謁見を果たします。

一刻も早く帰国するため、台風が接近する中、乗組員は危険を承知で母国トルコへ向け出港を決断。しかし、和歌山県串本沖を航行中、荒れ狂う波に揉まれ、ついには**紀伊大島の海岸へ座礁、沈没**してしまいます。灯台守からの知らせを受けた大島村の村人たちは、現場に駆けつけ、寝食を忘れぬで救助に当たりました。冷えきった乗組員の体を人肌で温め、非常食用の鶏や衣服を惜しげもなく乗組員に提供し、手厚く保護したそうです。

乗組員650名以上のうち、生存者はわずか69名。犠牲者の数がこの事故の凄惨さを物語っています。その後、負傷者は神戸に輸送され治療を受けたのち、日本の軍艦によって無事母国へ送り届けられることになりました。【**エルトゥールル号事件**】

月日は流れ、今から30年前の1985年、イラン・イラク戦争が勃発します。サダムフセインは「48時間後にイラン上空を飛ぶ飛行機は無差別に攻撃する」と宣言しました。当時、首都テヘランの在留邦人は200名以上いましたが、日本の航空会社は「イラン・イラク両国から安全の保障がない限り、飛行はできない」と回答します。日本の航空機が自国民を救えない状況を誰もが嘆く中、トルコ政府が救助に名乗りを挙げます。トルコ航空機が2機派遣され、日本人を優先的に救援しました。タイムリミットまで1時間15分前のことでした。【**トルコ航空救出劇**】

当時の駐日トルコ大使はこの救出について「**エルトゥールル号の恩を返したまでです**」と語っており、この奇跡的な救出劇の背景に、125年前、異邦から遙々日本を訪れた人々の命を惜しまず救助した、大島の人々の温かい心がありました。

人種や宗教を超えたこれらの物語に、人間が持つ可能性、優しさ、思いやり、そしてゆるがない絆を感じずにはられません。民族・宗教紛争や無差別テロのニュースが絶えない昨今、この「**エルトゥールル号事件**」が、現代に生きる私たちに、忘れてはならない多くの大切なことを教えてくれるのではないのでしょうか。



トルコ記念館(紀伊大島)

コムテック営業カレンダー(平成28年3月～平成28年5月)

3月							4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 休						1	2 休	1	2	3	4	5	6	7 休
6 休	7	8	9	10	11	12 休	5 休	6	5	6	7	8	9 休	8	9	10	11	12	13	14 休
13 休	14	15	16	17	18	19 休	12 休	13	12	13	14	15	16 休	15 休	16	17	18	19	20	21 休
20 休	21 休	22	23	24	25	26 休	19 休	20	19	20	21	22	23 休	22 休	23	24	25	26	27	28 休
27 休	28	29	30	31			26 休	27	26	27	28	29 休	30 休	29 休	30	31				

※次号は6月発行予定です。尚、この通信は 3/1～3/10迄のご注文商品に同梱させて頂いております。